

# 研究協力のお願

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学横浜市北部病院における中リスク甲状腺乳頭癌に対する治療戦略の後方視的調査

## 1. 研究の対象および研究対象期間

2013年1月1日から2021年12月31日までに横浜市北部病院甲状腺センター外科において甲状腺乳頭癌で手術された患者さんが対象です。

## 2. 研究目的・方法

横浜市北部病院・外科・甲状腺センターで外科治療された中リスク甲状腺乳頭癌の臨床病理学的特徴を明らかにし、治療方針変更の参考となるような因子を見出すことを研究の目的としております。甲状腺分化癌に対して手術が唯一の確実な治療法であることは疑いの余地がありません。2018年に改訂された本邦の甲状腺腫瘍診療ガイドラインでは、甲状腺乳頭癌を再発リスク(超低リスク、低リスク、中リスク、高リスク)に分類し、それぞれのリスク分類に基づいた管理方法を推奨しています。その中の「中リスク乳頭癌」は、超低・低・高のいずれにも該当しない症例ですが、甲状腺切除術式や郭清範囲については他に予後因子や患者さんの背景など、症例ごとに決定することが推奨されており治療方針にある程度の幅があるのが特徴です。このたび、当院甲状腺センターで治療された中リスク乳頭癌に対し病理組織学的特徴・術後合併症・予後につき調査検討を行います。

## 3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2024年4月30日まで

## 4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの背景(年齢、性別、術前診断病名)、臨床検査結果、画像所見による評価(エコー、CT)、術後病理組織診断、術後合併症、追加手術の有無および予後。

## 5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

**6 . 研究組織**

研究責任者 所属：昭和大学横浜市北部病院 氏名：大桑 恵子

**7 . お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学横浜市北部病院 氏名：大桑 恵子

住所：〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35 - 1 電話番号：045 - 949-7000